

第21回よさこい津軽開催要綱

1. 目的

(1) 地域経済の活性化

弘前市には「さくらまつり」や「ねぶたまつり」などの全国的に有名な四季折々の祭りがある。ただ、祭りの端境期には街が閑散とする感が強く、その端境期に新たなイベントを創造することでコロナ禍により消費が落ち込んだまちの地域経済活性化の起爆剤に繋げる。

(2) 新たな人のつながり、文化の交流を創り出す

社会人、学生、児童が共通の目的を持って自主的に組織や踊りを作り上げ、練習に励み、「よさこい津軽」に参加することで“成し遂げる喜び”を得ることができる。さらには、話題を共有する人々が集うことで、新たな人のつながり・文化の交流を創り出すことができる。

2. 主催 よさこい津軽実行委員会・弘前商業連合会

3. 日時 令和4年9月18日（日）午前10時00分から午後3時00分
（交通規制：午前8時00分から午後4時00分）
※カルチャアロードと同日開催のため雨天時は翌週9/25（日）に順延

4. 会場 弘前市土手町通り3.3.2号線の一部
（予定：旧一戸時計店～典礼会館付近車道）
本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催規模を縮小し1会場かつステージ演舞形式のみで行う（出陣式なし）

5. 参加資格 開催目的に同意すること並びに雨天順延時に対応可能なこと

6. 演舞規則 ○演奏時間は4分30秒以内とする
○既製の音源を使用する場合は、著作権上の使用手続きを済ませること
○音響設備については、主催者側で準備を行う
○本年はステージ型演舞形式のみ（20m×10m）
○旗振り、合同乱舞は実施予定

7. 感染症対策 青森県危機対策本部による「イベント開催制限の考え方について（期間：令和4年3月22日～）を参考に下記感染症対策を講じるほか、拡大状況に応じて都度検討を行う。

<主な感染症対策>

- ・各団体の参加者情報把握の徹底
- ・観覧者、スタッフのマスク着用
- ・チームへの応援は拍手・手拍子のみ（声援NG）
- ・その他
（演舞団体は発声を行う団体のみマスク着用）

8. 参考（過年度大会実績）

<令和元年度>

第20回よさこい津軽（20回記念）

令和元年6月23日（日）に弘前市土手町通りにて開催（4会場）

参加団体数：25団体 参加踊り手数：584名

総人出数：2万人（主催者発表）

※令和2年度～令和3年度は全国的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となったため、本年3年ぶりの開催を迎える。